

真田宝物館だより

# 六む連れん銭せん

第48号

令和5年3月発行

真田家大名道具に見る「牡丹」  
ぼたん

### ◆掲載内容◆

- 真田家大名道具に見る牡丹
- 企画展情報
- 展示スケジュール
- とある日の宝物館
- ミュージアムグッズのご案内
- お知らせ

## とある日の宝物館…

真田宝物館をはじめとした、松代文化施設等管理事務所が管理する文化施設を中心にミュージアムボランティアとして活動を行う「松代文化財ボランティアの会」。令和5年度の新規会員向け講座が2月11日(土)からスタートしました。

講座に参加した皆さんは年齢も様々で、まだ現役でお仕事をされている方もいれば、子育て中の方もいます。とても明るい自己紹介の様子からは「ボランティア活動を全力で楽しみたい！」という意欲があふれていました。



松代文化財ボランティアの活動は様々です。来館者に寄り添った丁寧なもてなしで人気の文化施設ガイド、地域に残る史跡へ足を運び最新の情報を集め、会員や

お客様へ情報発信をする史跡調査。来館者や小中学生に楽しいワークショップを通して松代や真田の歴史を学んでもらう活動。また、子供たちが活用しやすいガイドブックの制作。英語が得意なメンバーで外国の来館者向けに行うガイド。襖の下張文書の整理作業。SNSを活用した情報発信などなど…。おもしろいのは、メンバーが持つ特技を活かしたり「やってみたい」という気持ちを形にしていること。

まだまだ様々な特技や意欲を持ったメンバーが集まる松代文化財ボランティアの会。これからのさらなる飛躍が楽しみです。



松代文化財ボランティアの会の新規会員募集は毎年1月上旬です。詳しくは松代文化財ボランティアの会 (TEL 026-278-9010) へお問い合わせください。

## ミュージアムグッズのご案内

真田宝物館のミュージアムグッズの新作を紹介します。

### ミニクリアファイル(陣羽織)

8代藩主・真田幸貫所用の、華やかな牡丹が粹な「綴錦牡丹模様に金六連銭紋陣羽織」をB5サイズのミニクリアファイルにデザインしました。全体にうっすらと浮き上がる牡丹模様がポイント。

価格 150円(税込)  
サイズ B5サイズ

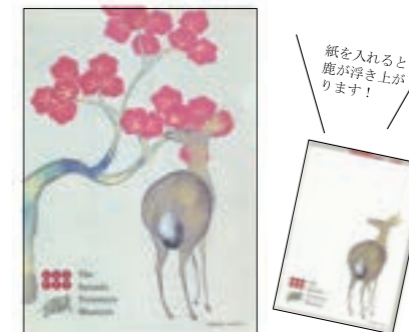


中に入れた書類もしっかり見える♪

### クリアファイル(鹿)

真田家伝来・中村芳中筆「人物花鳥図巻」をデザインした、うしろ姿がかわいらしい鹿をモチーフにしたクリアファイルです。

価格 200円(税込)  
サイズ A4サイズ



紙を入れると鹿が浮き上がります!

## お知らせ



真田宝物館で、甲冑着用体験が楽しめるのはご存じですか？六連銭紋の前立て(兜のかざり)がついた赤や黒の甲冑や、陣羽織を着て記念撮影ができます！実はこの体験用甲冑、本物の甲冑と同じくらい重いつくりなんです。ぜひ体感しにお出かけください。

体験には真田宝物館入館料(一般 600円 小中学生 100円)がかかります。毎週土曜日は小中学生入館料無料!

長野市教育委員会 松代文化施設等管理事務所

(真田宝物館・真田邸・文武学校・旧横田家住宅・象山記念館・旧白井家表門・松代城跡・山寺常山邸・旧樋口家住宅・旧前島家住宅・旧松代藩鐘楼)

〒381-1231 長野市松代町松代4-1 TEL 026-278-2801 FAX 026-278-2847  
<https://www.sanadahoumotsukan.com/>





2023年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

4/12～

花 — 真田家大名道具の彩 —

6/26～6/30  
館内消毒休館

7/1～

昌幸の選択

9/27～

特別展  
真田家と  
宇和島藩伊達家

企画展情報

企画展「花 — 真田家大名道具の彩 —」

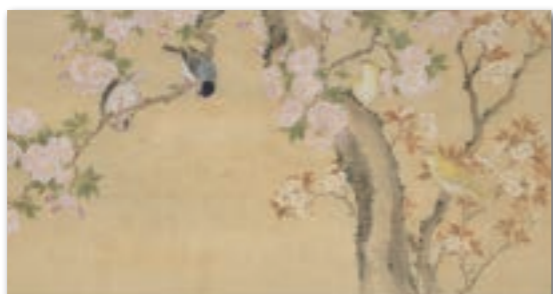
令和5年4月12日(水)～6月25日(日)

関連イベント

展示担当職員による  
ギャラリートーク  
令和5年4月12日(水)・4月22日(土)  
いずれも10:00～

ワークショップ  
「切り紙で花の模様のしおり作り」  
日時：5月20日(土) 10:00～12:00  
会場：真田宝物館内  
わくわくルーム  
申込不要、参加費無料  
先着20名

真田宝物館入館料(一般600円 小中学生100円)が別途かかります。  
毎週土曜日・5月5日(こどもの日)は  
小中学生入館料無料!



花鳥図巻 酒井雪谷筆

人々は古くから花にあこがれ、慈しみ、そして生活の中に取り入れてきました。真田家伝来の書画、調度、衣服、武器といった大名道具の中にも、様々な花々が意匠として広く用いられています。その華やかな彩の世界を、真田家伝来の大名道具を通してご紹介します。

企画展「昌幸の選択」

令和5年7月1日(土)～9月25日(月)

関連イベント

展示担当職員による  
ギャラリートーク  
令和5年7月1日(土)・7月5日(水)  
いずれも10:00～

ワークショップ  
「折紙で刀を折ってみよう!」  
日時：8月26日(土) 10:00～12:00  
会場：真田宝物館内  
わくわくルーム  
申込不要、参加費無料  
先着20名

真田宝物館入館料(一般600円 小中学生100円)が別途かかります。  
毎週土曜日・9月18日(敬老の日)は  
小中学生入館料無料!



徳川家康判物 天正10年(1582)9月28日付

真田昌幸は、兄二人が長篠の戦いで討死にしたため真田家を継ぎ、六十五歳で亡くなるまでの間、幾度となく、どう対応し、行動するべきかという選択を迫られる場面がありました。そうした場面で昌幸が選んだ道の先に何が待ちかまえているのかという視点で、波乱万丈という言葉がふさわしい昌幸の生涯をご紹介します。  
★重要文化財「青江の大太刀」、長野県宝「刀 無銘伝三原」企画展期間中に展示予定です。

真田家大名道具に見る「牡丹」

牡丹は「百花の王」「富貴草」「国色天香」など多くの異名を持ち、その豪華な美しさから中国・朝鮮・琉球・日本などで好まれ、書画、調度、衣服、武器などの意匠として広く用いられてきました。また、牡丹の表現は多岐にわたり、他のものと組み合わせることで様々な意味を持たせたのです。

真田家伝来の大名道具にも、牡丹の意匠は多く使われています。真田家の書画、調度、武器から、牡丹の持つ意味をご紹介します。

富貴の象徴

藩主の奥方が使用した道具にも、様々な形で牡丹があらわれています。中でも婚礼調度には富貴の象徴として「牡丹」が多く使われました。六代藩主・真田幸弘の正室・真松院の婚礼調度に、厨子棚・書棚とともに揃えられる三棚のひとつである黒棚と、櫛三十三枚と櫛の汚れを払う櫛払などが納められていた黒箱があります。これらには、真松院の実家・白河藩松平家家紋の梅鉢、嫁ぎ先である真田家家紋の六連銭とともに、牡丹唐草蒔絵があらわれています。四方へ蔓を這わせ勢力を伸ばす蔓性の植物をモチーフにした唐草文様は、吉祥文様として好まれますが、さらに牡丹と組み合わせることで、富貴が絶えることなく力強く末代まで続いてほしいという願いが込められたのです。



黒棚・黒箱



※「富貴」＝豊かで尊いという意味。

長寿を祈る

松代藩の絵師の一人に酒井雪谷がいます。雪谷は同じく松代藩士で絵を能くした樋畑翁輔や、歌川広重のもとで絵を学び、その技術の高さから九代藩主・真田幸教にも絵を教えたといわれています。雪谷の作品として、多くの花鳥図が真田家に伝わっています。そのなかのひとつに、牡丹と蝶が描かれたものがあります。「花に誘われる蝶」は当たり前のような光景に感じますが、牡丹に至っては特別な意味を持ちます。「蝶」の字は中国で八十～九十歳の老人を意味する「耄」と音が通じることから、長寿を象徴するといわれています。牡丹とあわせて描くことで、富貴・長寿を意味しました。



花鳥図巻 酒井雪谷筆

牡丹と獅子

武士は古くから牡丹と獅子を武器の意匠に取り入れてきました。牡丹は浄土に咲く花として神聖視されています。また、獅子は百獣の王であると同時に、文殊菩薩が座る「獅子座」としてもあらわれます。このように、神仏に近い存在である両者の力を得るため、武器の意匠として用いてきたといわれています。

八代藩主・真田幸貫所用の武器に、綴錦牡丹模様(に金六連銭紋)の陣羽織があります。空色の地に紅白の鮮やかな牡丹が織り出された美しい陣羽織です。その華やかさに目が行きがちですが、よく見ると背縫いの中央に獅子の金細工があらわれているのがわかります。

(文責 溝辺いずみ)



綴錦牡丹模様(に金六連銭紋) 陣羽織